

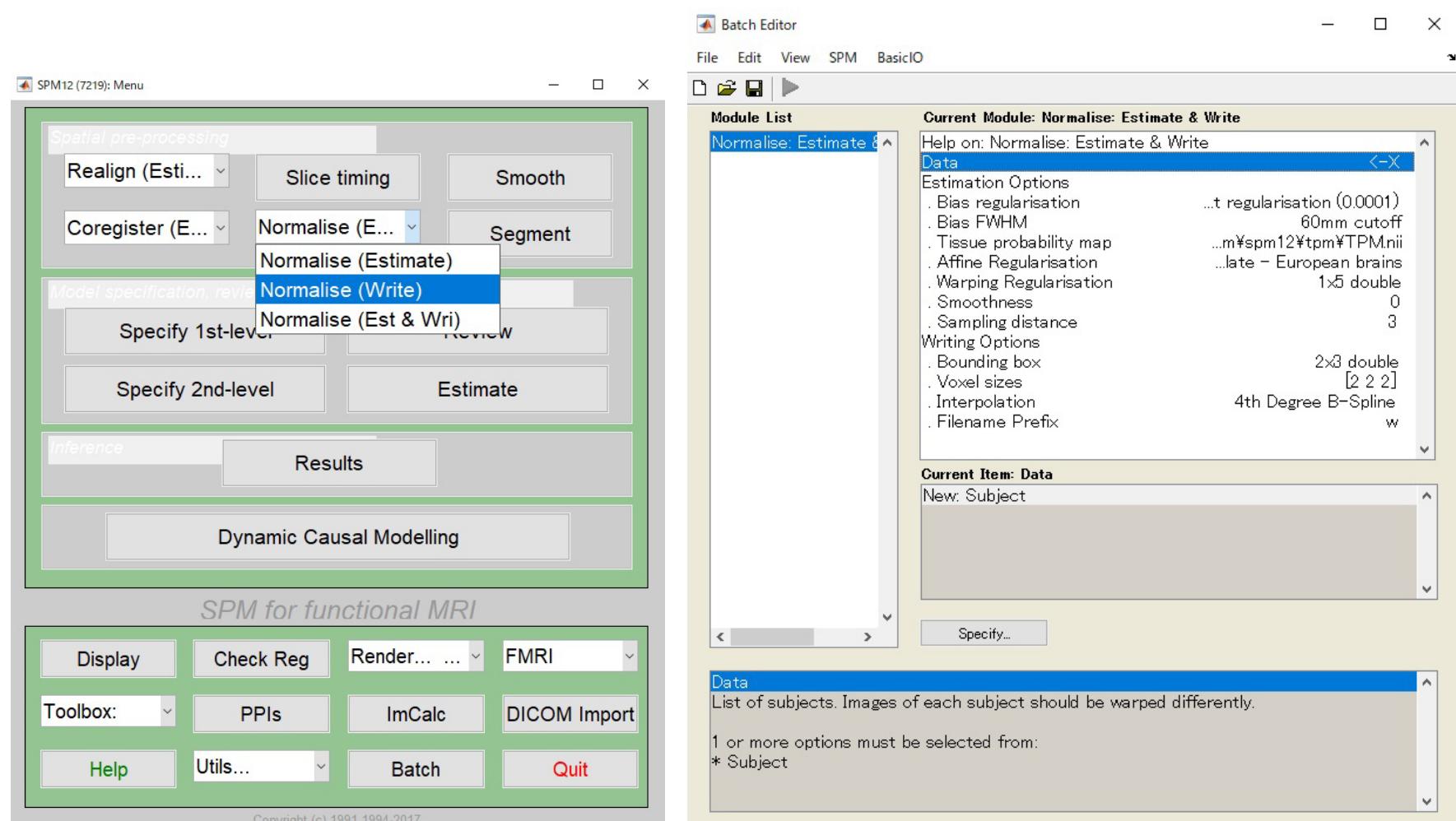


# Normalization

# Normalization

大人数の脳画像から作成された標準脳テンプレートに個人の脳データを当てはめることで、集団解析を可能にする

**Normalise (Write)**を選択してBatch Editor立ち上げ



# Normalization

DataをダブルクリックしてSubject欄を作成

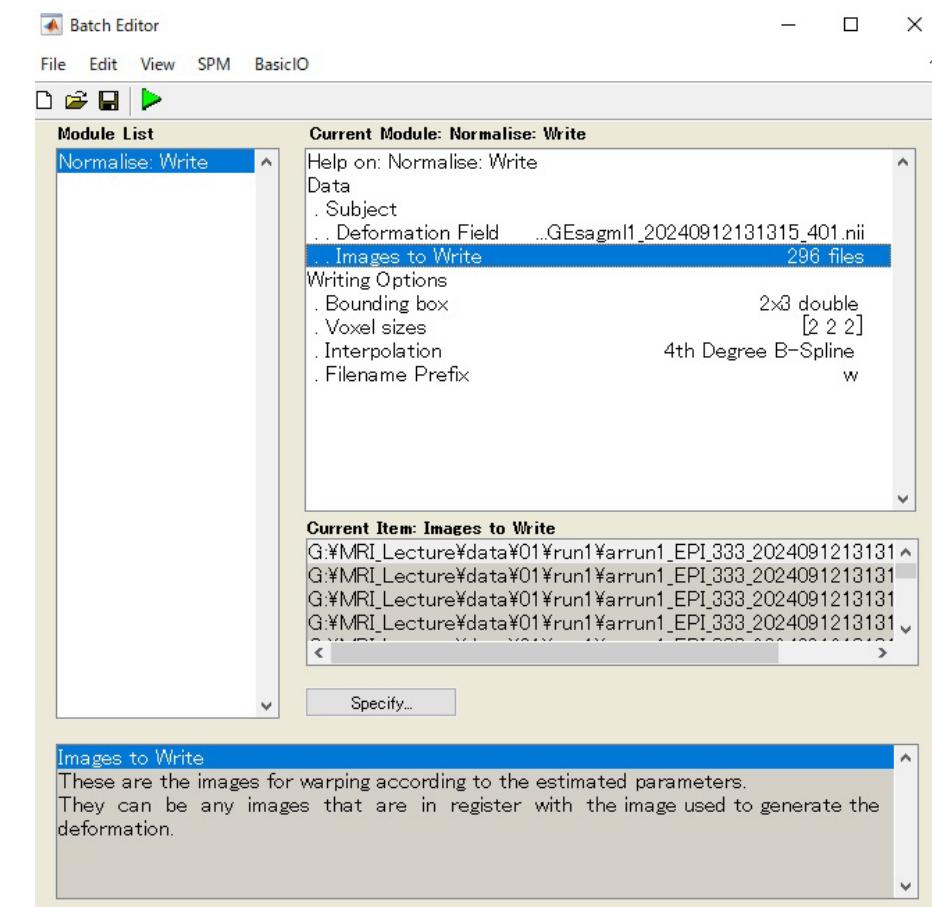
Deformation Fieldに、セグメンテーションで作成されたy\_のつく構造画像を選択

Images to Writeに、run1とrun2のarで始まるすべての機能画像を選択

すべての画像の選択のしかたはリアラインメントや  
スライスタイミング補正と同様の方法

実行してDoneを待つ

空間標準化処理が完了した.niiは  
ファイル名の先頭にwがつく

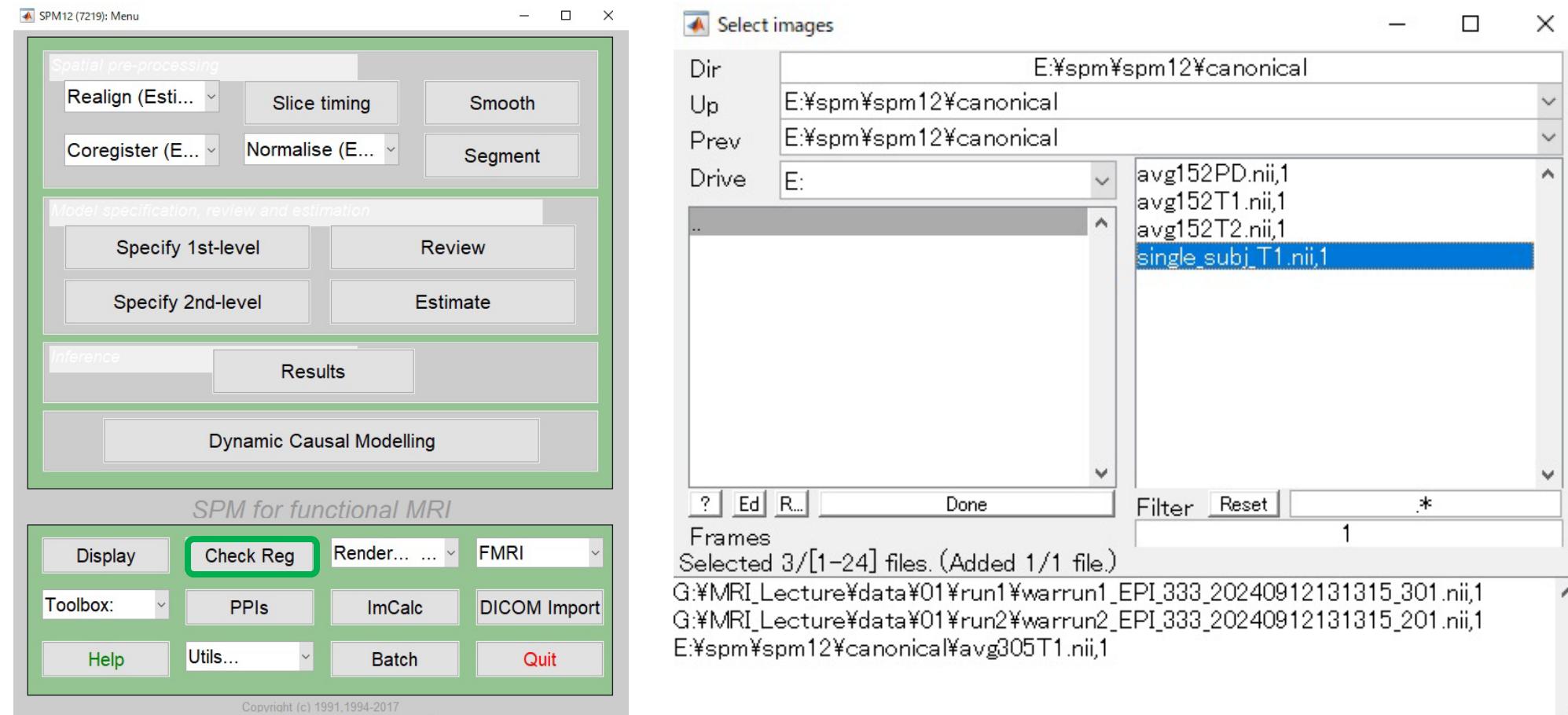


# Normalization

SPMメニューのCheck Regを押す

Select imagesに、空間標準化でできたwarのつく機能画像(run1とrun2の2つ分)を選択

SPM12のあるディレクトリ下の、canonicalからavg305T1.niiを選択してDone

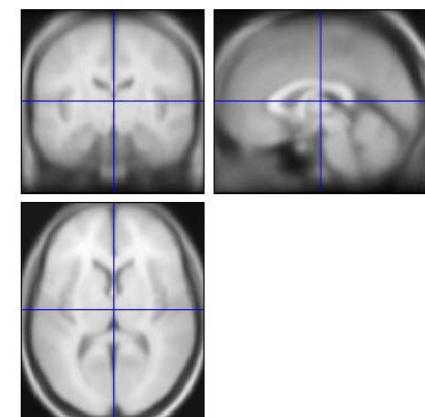
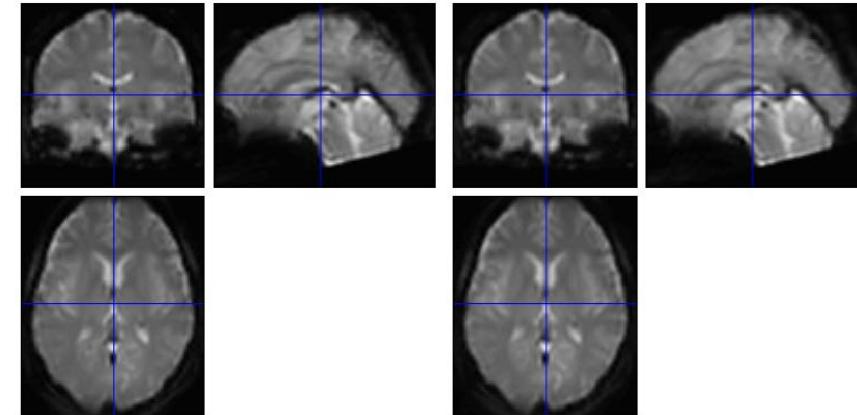


# Normalization

青十字を動かして、だいたい対応しているか  
確認しておこう

SPM12 (7219): Graphics

ファイル(F) 標準(E) 表示(V)挿入(I) ツール(T) デスクトップ(D) ウィンドウ(W) ヘルプ(H) SPM Figure



問い合わせ

CogNAC事務局

cognac-office@grp.tohoku.ac.jp

作成・編集

応用認知神経科学センター・助教 田邊 亜澄

応用認知神経科学センター・学術研究員 大方 翔貴

応用認知神経科学センター・助教 DING Yi

